

令和7年度 第6回理事会

日 時：令和7年9月5日（金）15:30～

場 所：森林総合研究所（つくば市）特別会議室

I. 報 告

1. 令和8年度予算概算要求の概要について [総合調整室]
2. 令和7年度第1回森林保険センター統合リスク管理委員会 審議概要について
（非公表） [森林保険センター]
3. 災害救助法の適用を受けた区域を対象とした森林保険の対応について
[森林保険センター]

II. その他

1. 今後の主な会議・行事予定について
2. 主要行事
3. 森林総合研究所が広報普及した主な研究成果等について

令和 8 年度予算概算要求の概要について

- | | |
|---------------------------|------|
| (1) 令和 8 年度林野庁関係予算概算要求の概要 | 1～3 |
| (2) 森林総合研究所・林木育種センター関係予算 | 4～5 |
| (3) 森林整備センター関係予算 | 6～12 |

令和8年度 林野庁関係予算概算要求の概要

令和7年8月

区 分	令和7年度 当初予算額	令和8年度 概算要求額	対前年度比
	百万円	百万円	%
公 共 事 業 費	197,343	231,750	117.4
一般公共事業費	188,018	222,425	118.3
治 山 事 業 費	62,453	73,882	118.3
森林整備事業費	125,565	148,543	118.3
災害復旧等事業費	9,325	9,325	100.0
非 公 共 事 業 費	109,487	114,012	104.1
合 計	306,830	345,762	112.7

(注)1 上記のほか、農山漁村地域整備交付金の中で、林野関係事業を措置している。

2 金額は、関係ベース。

3 計数は、四捨五入のため、端数において合計とは一致しないものがある。

※「食料安全保障強化政策大綱」を踏まえた食料安全保障の強化に向けた対応に係る経費、
「第1次国土強靱化実施中期計画」に係る経費及び「総合的なTPP等関連政策大綱」を踏まえた
農林水産分野における経費については、予算編成過程で検討。

令和 8 年度林野関係予算概算要求の重点事項

総額 3, 4 5 8 億円
(3, 0 6 8 億円)

(注) 各事項の下段 () 内は、令和 7 年度当初予算額

2050 年ネット・ゼロ等に貢献する「森の国・木の街」の実現に向けた森林資源循環利用施策の総合的な展開

① 森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策 1 8 2 億円
(1 4 3 億円)

- ・ 2050 年ネット・ゼロ等に貢献する「森の国・木の街」を実現するとともに、花粉症対策を推進する観点から、D X 等新技術の導入を図り、川上から川下までの森林・林業・木材産業政策を総合的に推進

ア 森林集約・循環成長対策 8 4 億円
(7 0 億円)

- ・ 地域の関係者が、所有者不明森林を含め、循環利用に取り組む経営体へ森林の集積・集約化を進めるため、地域の森林の将来像の作成・共有、境界確定、デジタル森林情報の共有、モデル的取組の全国展開に向けた成果の発信等を支援
- ・ 路網の整備・機能強化、搬出間伐の実施、再造林の省力・低コスト化、エリートツリー等の安定供給、スマート林業の実装に向けた先進的な林業機械の導入、森林病虫害対策の推進、林野火災予防対策の高度化とともに、木材加工流通施設の整備や木造公共建築物・木造非住宅建築物の整備等を支援

イ 木材等の付加価値向上・需要拡大対策 1 6 億円
(1 4 億円)

- ・ J A S 構造材やC L T等を活用した木造化による地方創生、木材利用による温室効果ガス (G H G) 排出削減効果の「見える化」の促進、合理的な木材価格の形成による森林資源の循環利用に向けた供給体制構築、木材産業の人材確保に向けた取組等を支援
- ・ C L T等の輸出促進、合法伐採木材の利用促進、木質バイオマスを活用した「地域内エコシステム」の展開、特用林産物の需要拡大等を支援
- ・ 森林の様々な価値や機能の総合的な利活用を図る「森業（もりぎょう）」を推進するため、健康・観光・教育等での森林空間利用の創出やJ ークレジットの普及等の取組を支援

ウ 森林・林業担い手育成総合対策

5 7 億円

(4 7 億円)

- ・「緑の雇用」事業による新規就業者への体系的な研修、林業大学校で学ぶ就業前の者への給付金給付、高校生の林業体験学習や女性の活躍促進、森林プランナーの育成、林業経営体の安全診断などの労働安全対策等の取組を支援

エ スマート林業・DX推進総合対策

4 億円

(2 億円)

- ・林業機械の自動化・遠隔操作化技術や森林内の通信技術・木質系新素材の開発・実証、スマート林業技術を活用する新たな作業システムの構築、地域一体で林業活動にデジタル技術をフル活用する戦略拠点の構築等を支援

オ 森林・山村地域活性化振興対策

1 1 億円

(1 0 億円)

- ・森業の振興などを通じた山村地域の活性化に向け、里山林の整備・活用に取り組む組織の確保・育成、里山林を活用し収入を得る「半林半X」を含めた活動の実践を支援

カ 花粉症解決に向けた総合対策

1 1 億円

(－)

- ・スギ人工林伐採重点区域におけるスギ人工林の伐採・植替え等の加速化、スギ材需要の拡大、花粉の少ない苗木の生産拡大、林業の生産性向上及び労働力の確保、花粉飛散量の予測・飛散防止、スギ花粉米の実用化に向けた安全性・有効性の検証の取組を推進

② 森林整備事業＜公共＞

1, 4 8 5 億円

(1, 2 5 6 億円)

- ・森林吸収源の機能強化や林野火災対策を含む国土強靱化、森林の集積・集約化に向け、間伐、主伐後の再造林、幹線となる林道の開設・改良等の推進に加え、花粉発生源対策としてスギ人工林の伐採・植替え、路網の整備等を推進

③ 治山事業＜公共＞

7 3 9 億円

(6 2 5 億円)

- ・能登半島における複合災害等の教訓を踏まえた短期間でより多くの箇所での安全性を向上させる応急対策の強化や施工性の高い工種・工法の導入促進など、国土強靱化に向けた効率的かつ効果的な取組を推進

④ 農山漁村地域整備交付金＜公共＞

8 8 4 億円の内数

(7 6 2 億円の内数)

- ・地方の裁量によって実施する農林水産業の基盤整備や農山漁村の防災・減災対策に必要な交付金を交付

鳥獣被害防止対策

- ・森林における効果的・効率的なシカ捕獲の取組を推進

2 億円

(1 億円)

国立研究開発法人森林研究・整備機構 研究・育種勘定運営費交付金（継続）

令和8年度予算概算要求額 10,934,271千円（前年度 10,364,803千円）

<対策のポイント>

森林・林業・木材産業に関する試験・研究、林木の育種や優良な原種苗木の生産・配布等を行うことにより、森林・林業・木材産業のグリーン成長の実現及び諸課題の解決に積極的に貢献します。

<事業目標>

- 森林・林業・木材産業に関する総合的な試験・研究及び林木育種事業の着実な推進
- 国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期目標の達成

<事業の内容>

- （国研）森林研究・整備機構は、**森林・林業・木材産業に関する総合的な試験・研究等**を行うことにより、森林・林業・木材産業が抱える諸課題の解決に貢献し、森林の保続培養を図るとともに、林業に関する技術の向上に寄与し、もって**林業の振興と森林の有する公益的機能の維持増進に資する**ことを使命としています。
- 森林・林業・木材産業分野における**行政課題に対応した試験研究等を実施し、森林・林業・木材産業のグリーン成長の実現に貢献**します。
- 令和8年度は第6期中長期目標・計画の初年度となるため、重点化すべき研究課題を見直し、中長期目標・計画期間に推進すべき国の施策ニーズに対応した追加的な研究課題にも取り組みます。

<事業の流れ>



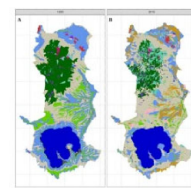
<事業イメージ>

森林研究・整備機構の試験・研究課題（第5期中長期目標）と取組事例

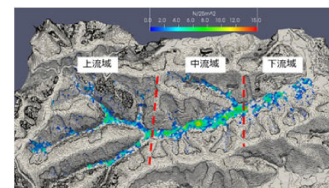
(1) 環境変動下での森林の多面的機能の発揮に向けた研究開発



森林吸収量算定の精度向上

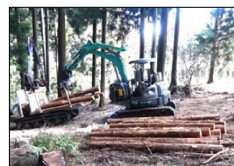


温暖化による森林帯の変化



流木捕捉量予測ツールの開発

(2) 森林資源の活用による循環型社会の実現と山村振興に資する研究開発



林業機械の自動化



木の酒



構造用木質材料

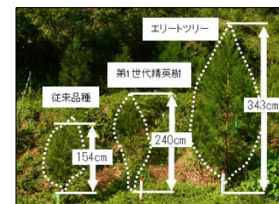


新規セルロース系素材開発

(3) 多様な森林の造成・保全と持続的資源利用に貢献する林木育種



環境制御による育成期間短縮



成長等に優れた品種の開発



乾燥に強いスギ品種の開発

国立研究開発法人森林研究・整備機構 施設整備費補助金（継続）

令和8年度予算概算要求額 307,500千円（前年度 366,672千円）

<対策のポイント>

森林・林業・木材産業に関する試験・研究、林木の育種や優良な原種苗木の生産・配布等に必要な施設の改善等を行うことにより、研究基盤の維持・強化を図ります。

<事業目標>

- 森林・林業・木材産業に関する総合的な試験・研究及び林木育種事業の着実な推進
- 国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期目標の達成

<事業の内容>

森林・林業・木材産業が抱える諸課題の解決に貢献し、（国研）森林研究・整備機構の業務の適切かつ効率的な実施及び労働環境の改善のため、**業務実施上の必要性、老朽化の程度等を総合的に勘案し、研究基盤の維持・強化に必要な施設の整備**を行います。

○ 森林総合研究所変電設備更新

老朽化した変電設備の更新を行います。

○ 関西育種場高圧受変電設備更新

老朽化した受変電設備の更新を行うための設計を行います。

○ 九州支所研究本館等改修

老朽化した施設の改修等を行うための設計を行います。

○ 北海道支所研究本館エアコン新設

研究環境改善のため、エアコンの新設を行うための設計を行います。

<事業イメージ>

【森林総合研究所変電設備】



昭和53年から更新されていない
変電設備

【関西育種場高圧受変電設備】



老朽化した受変電設備

【九州支所研究本館】



雨漏りしている天井

【北海道支所研究本館】



近年の夏季の高温に対応す
るため、エアコンを新設

<事業の流れ>



5/12

6

【お問い合わせ先】 林野庁研究指導課（03-6744-2312）

令和8年度 森林整備事業予算概算要求（民有林）総括表

【公共】

1. 一般会計

（単位：百万円）

2. 復興特別会計（東日本大震災における復興対策に係る経費）

（単位：百万円）

事 項	令和7年度 当初予算額 a	令和8年度 概算要求 額 b	対前年 度比 b/a	事 項	令和7年度 当初予算額 a	令和8年度 概算要求 額 b	対前年 度比 b/a
森林整備事業（民有林）	58,657	69,298	118.1%	森林整備事業（民有林）	2,149	1,902	88.5%
民有林補助事業	33,321	39,366	118.1%	民有林補助事業	2,019	1,812	89.7%
森林整備事業調査等	361	411	120.5%	森林環境保全整備事業	2,019	1,812	89.7%
森林環境保全整備事業	31,750	37,500	118.1%	森林環境保全直接支援事業	1,539	1,419	92.2%
森林環境保全直接支援事業	23,266	26,950	115.8%	林道整備事業	480	393	81.9%
特定機能回復事業	2,463	3,441	139.7%	水源林造成事業	130	90	69.2%
林道整備事業	5,265	6,341	120.4%				
林道施設PCB廃棄物処理促進対策事業	756	768	101.6%				
後進地域補助率差額	285	325	114.0%				
美しい森林づくり基盤整備交付金	925	1,130	122.2%				
水源林造成事業	25,336	29,932	118.1%				
災害復旧等	1,979	1,979	100.0%				

注1：上記のほか、農林水産省計上の農山漁村地域整備交付金、内閣府計上の新しい地方経済・生活環境創生基盤整備交付金がある。

注2：単位未満の四捨五入により、総数と内訳の計が一致しない場合がある。

森林整備事業 <公共>

うち、29,932 (25,336) 百万円

令和8年度予算概算要求額 148,543百万円 (前年度 125,565百万円)

<対策のポイント>

森林吸収源の機能強化、林野火災対策を含む国土強靱化、森林の集積・集約化の加速化に向けた、間伐、主伐後の再造林、幹線となる林道の開設・改良等の推進に加え、花粉発生源対策として伐採・植替え、路網整備等を推進します。

<事業目標>

- 森林吸収量の確保に向けた間伐の実施（45万ha〔令和3年度から令和12年度までの10年間の年平均〕）
- スギ花粉の発生量の削減（令和2年度比 約2割削減〔令和15年度まで〕、5割削減〔令和35年度まで〕）

<事業の内容>

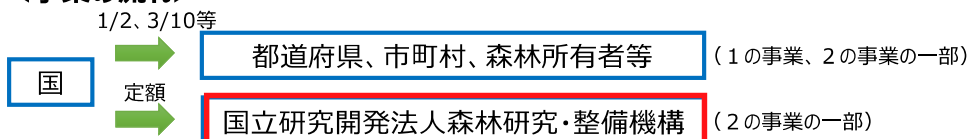
1. 間伐や再造林、路網整備等

- ① 省力化・低コスト化を進めつつ、間伐や再造林等の適切な森林整備を推進するとともに、林業適地等における林道の開設・改良等を推進します。
- ② 森林の集積・集約化を進める地域において、基盤となる林道の整備や効率的な森林整備を支援します。
- ③ 花粉発生源対策として伐採・植替え、路網整備等を支援します。

2. 豪雨・台風等による被害を受けた森林の整備、林道の強靱化等

- ① 豪雨・台風等による被害を受けた森林や奥地水源林、重要インフラ施設周辺の森林等について、市町村等の公的主体による復旧・整備を推進します。
- ② 防災上重要な幹線林道の整備を支援するとともに、半島地域における代替路の確保を推進します。
- ③ 林野火災の危険度が高い地域において、山火事防止施設を備えた防火機能の高い林道や延焼防止に資する防火林帯の整備を支援します。

<事業の流れ>



※ 国有林においては、直轄で実施

<事業イメージ>

間伐や再造林、路網整備等

省力・低コスト造林による再造林面積の確保

路網整備の推進により再造林等を後押し

森林資源の循環利用

公益的機能の持続的発揮

森林の集積・集約化を進める地域において、基盤となる林道の整備や効率的な森林整備を支援

花粉発生源対策として伐採・植替えの一貫作業や路網整備等を支援

造林

下刈り

幹線林道の整備

間伐等の森林施業や路網整備

伐採・植替えの一貫作業

豪雨・台風等による被害を受けた森林の整備、林道の強靱化等

豪雨・台風等による被害を受けた森林や奥地水源林等において、公的主体による復旧・整備を推進

防災上重要な幹線林道や、防火機能の高い林道、防火林帯の整備を支援

台風による風倒木被害

奥地水源林

のり面保全による林道の強靱化

防火林帯の整備

7/12

【お問い合わせ先】 林野庁整備課 (03-6744-2303)

森林整備事業（公共）【復興対策】（拡充）

うち、90（130）百万円

令和8年度予算概算要求額 3,624百万円（前年度 3,871百万円）

<対策のポイント>

放射性物質の影響を受けた地域における森林・林業の再生に向け、**放射性物質を含む土砂の流出防止を図るための間伐・路網整備等を推進**します。

<政策目標>

土壌を保持する能力等が良好に保たれている森林の割合の増加

<事業の内容>

1. ふくしま復興加速化森林整備事業（公的タイプ）

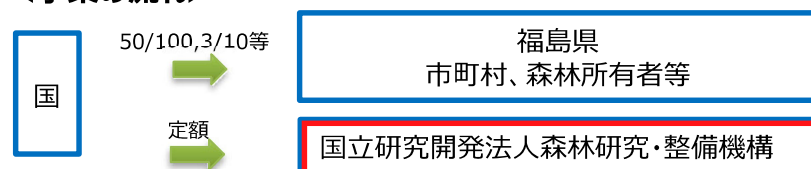
帰還困難区域や除染特別地域、汚染状況重点調査地域その他空間線量率が高い地域において、放射性物質の影響等で所有者自らでは整備が進めがたい森林について、**県・市町村の公的主体による間伐等の森林施業や、これらに必要な林業専用道の整備等を推進**します（ふくしま森林再生事業は本事業を活用して実施します）。

帰還困難区域においては、**既設林道の改良や機能回復を推進**します。

2. ふくしま復興加速化森林整備事業（民間タイプ）

1と同じ地域において、**森林所有者等が行う放射性物質対策と一体となった間伐等を推進**します。

<事業の流れ>



※このほか国有林における直轄事業を実施

<事業イメージ>



8/12

9

【お問い合わせ先】 林野庁整備課（03-6744-2303）

令和8年度 非公共予算総括表

1. 一般会計

(単位:千円)

事 項	令和7年度 当初予算額 a	令和8年度 概算要求額 b	対前年度比 b/a
森林集約・循環成長対策	7,033,014	8,444,219	120.1%
花粉の少ない森林への転換促進総合対策	－	1,000,000	－
分収林等施業転換推進事業	55,890	55,890	100.0%
幹線林道事業移行円滑化対策交付金	52,020	52,020	100.0%

2. 復興特別会計

(単位:千円)

事 項	令和7年度 当初予算額 a	令和8年度 概算要求額 b	対前年度比 b/a
放射性物質対処型森林・林業再生総合対策	3,731,121	3,788,641	101.5%

うち、30,000

10,000

33.3%

幹線林道事業移行円滑化対策交付金（継続）令和8年度予算概算要求額 52,020千円（前年度 52,020千円）

＜対策のポイント＞

平成20年4月1日に緑資源機構が解散し、緑資源幹線林道事業も廃止したことに伴い、業務を承継した国立研究開発法人森林研究・整備機構において既設幹線林道に係る賦課金等の徴収、借入金の償還を円滑に進める必要があります。

＜事業目標＞

既設幹線林道に係る賦課金等の円滑な徴収、借入金の償還

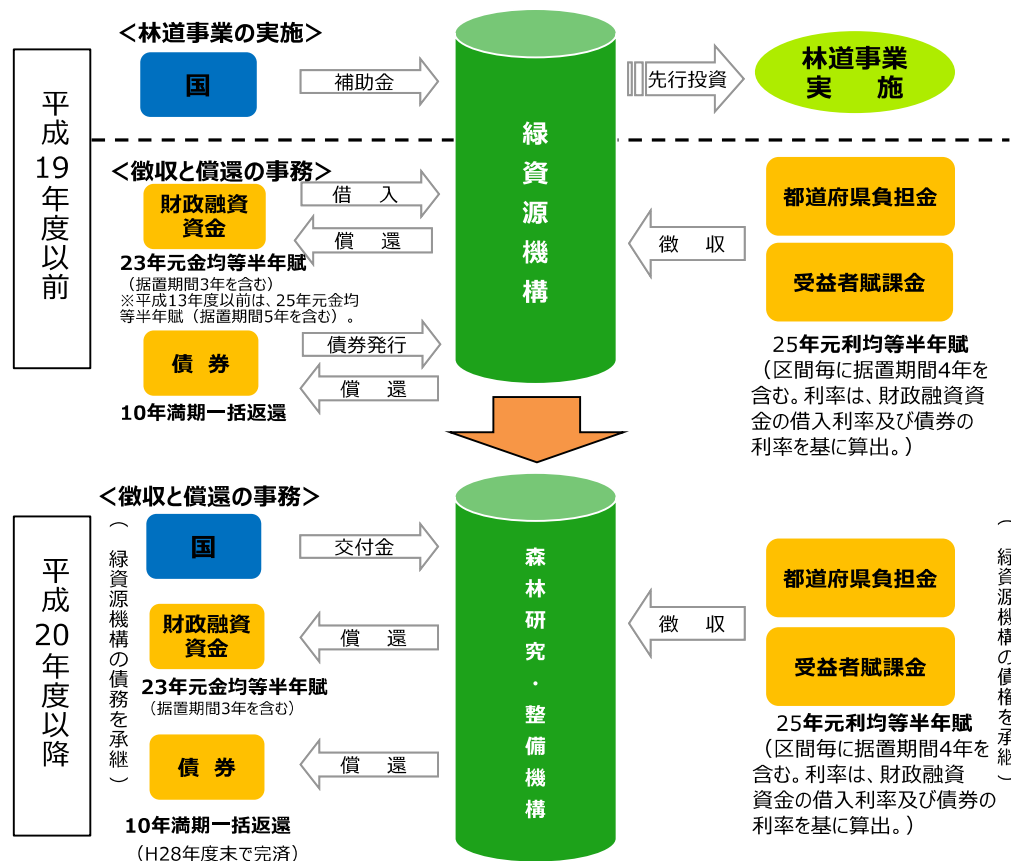
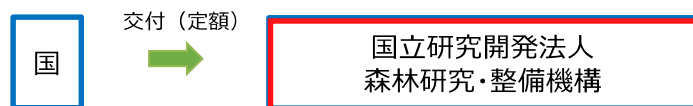
＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

○ 賦課金等の徴収のための事務費

国立研究開発法人森林研究・整備機構における既設幹線林道に係る賦課金・負担金の徴収に係る事務費を措置します。

＜事業の流れ＞



放射性物質対処型森林・林業再生総合対策事業（拡充）

うち、10,000（30,000）千円

令和8年度予算概算要求額 3,788,641千円（前年度 3,731,121千円）

<対策のポイント>

被災地の森林・林業の再生を図るため、森林内における放射性物質の実態把握、ほだ木等原木林再生のための実証、間伐等の森林整備と一体的に行う土砂流出防止柵の設置等の放射性物質対策に加え、帰還困難区域の森林整備の再開に向けた実証事業等を実施します。

<事業目標>

森林・林業の再生を通じた被災地の復興

<事業の内容>

1. 森林内における放射性物質の実態把握

233,096千円

- 森林内の放射性物質による汚染実態等を把握するため、樹冠部から土壌中まで階層ごとの放射性物質の分布状況等の調査・解析、樹木による放射性セシウムの吸収に
関係する土壌化学性の調査等を実施します。

2. 森林・林業再生に向けた実証等

2,019,463千円

① 帰還困難区域等における実証

帰還困難区域等において、地域住民の帰還と林業の再生を円滑に進められるよう、森林施策が放射性物質の動態に与える影響等の検証や実証事業を実施します。

② ほだ木等原木林再生のための実証

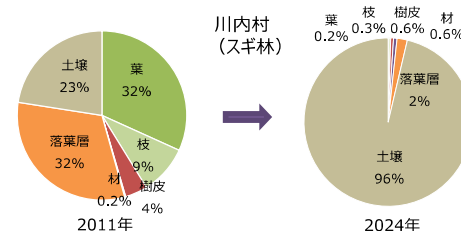
放射性物質の影響を受けている里山・広葉樹林の計画的な再生に向けた実証的な取組を支援します（「里山・広葉樹林再生プロジェクト」は本事業を活用して実施します）。

③ 情報の収集・整理と情報発信等

森林・林業の再生に向けた情報の収集・整理と情報発信、帰還困難区域における安全な森林作業のためのリスクコミュニケーションを実施します。

<事業イメージ>

1. 森林内における放射性物質の実態把握



樹木に沈着した放射性セシウムは雨による溶脱や落葉などで地表へ移動し、森林内の分布は14年間で大きく変化



土壌等の濃度測定

2. 森林・林業再生に向けた実証等

① 帰還困難区域等における実証



間伐等の影響検討

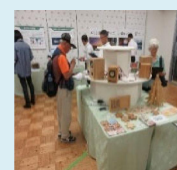


リターの蓄積量把握

③ 情報の収集・整理と情報発信等

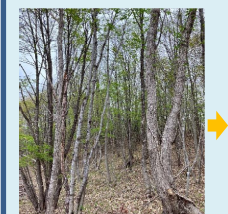


シンポジウム

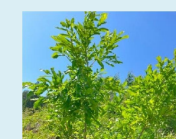


企画展示

② ほだ木等原木林再生のための実証



原木林の成林



伐採後のぼう芽更新

伐採及びぼう芽更新木等の濃度測定による再生実証「里山・広葉樹林再生プロジェクト」の推進

< 事業の内容 >

3. 放射性物質対処型林業再生対策

1,536,082千円

① 森林整備の実施に必要な放射性物質対策

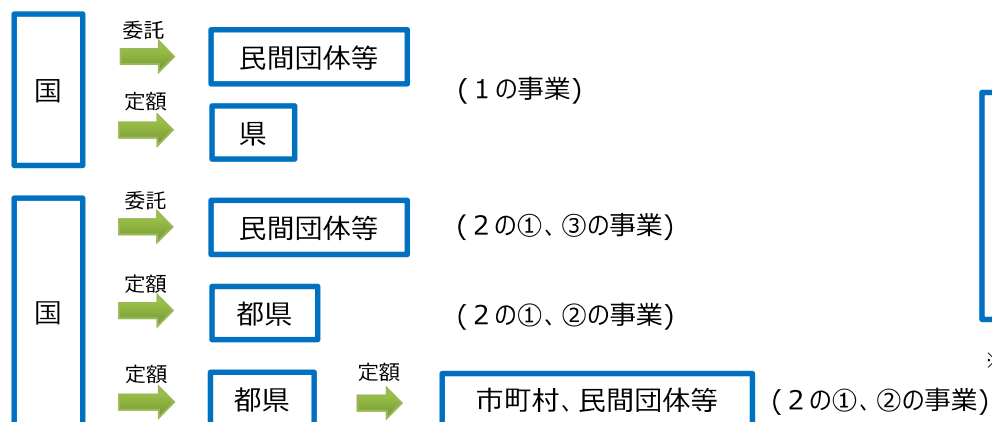
事業地を選定するための汚染状況重点調査地域等の森林の放射線量等の概況調査、作業計画の検討を行うための事業対象森林の調査、森林所有者等への説明・同意取付等を支援します。

また、放射性物質の移動抑制のための筋工の施工等森林整備を実施する際に必要な放射性物質対策を支援します（「ふくしま森林再生事業」は本事業を活用して実施します）。

② 里山再生事業

住居周辺の里山において、住民の安全・安心の確保に資するため、環境省・復興庁による除染・線量測定の実施と連携して森林整備を実施します。

< 事業の流れ >



< 事業イメージ >

3. 放射性物質対処型林業再生対策

① 森林整備の実施に必要な放射性物質対策



放射線量等の概況調査等



関係者の同意取付

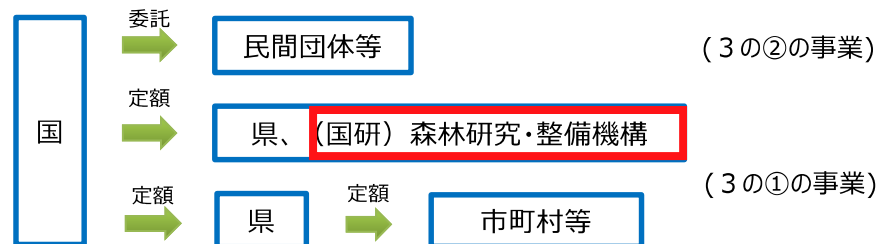


移動抑制対策(筋工)

② 里山再生事業



自然観察園（スギ、アカマツ等の間伐）



【お問い合わせ先】 林野庁研究指導課 (03-6744-9530)
業務課 (03-3503-2038)

12/12

13

災害救助法の適用を受けた区域を対象とした森林保険の対応について

- ・ 令和 7 年 8 月 6 日からの低気圧と前線による大雨
- ・ 令和 7 年 8 月 20 日からの大雨に伴う災害
- ・ 令和 7 年台風 12 号に伴う災害

- 上記災害により、災害救助法の適用を受けた区域を対象に、森林保険契約の継続手続きの猶予措置を定めた通知を道府県森林組合連合会等に発出（別添 1、2 及び 3）するとともに、森林保険センターホームページにも掲載
- 措置内容は、いずれも
 - ① 保険契約者が保険期間満了の 30 日前までに継続契約の申込みができなかった場合であっても、令和 8 年 2 月 27 日までに申出があった場合は、同日まで継続契約の締結手続きを猶予する。
 - ② 猶予期間内に保険料を添えて継続契約の申込が行われた場合は、現契約と同一の契約条件により、現契約の満了日をもって継続による契約が成立したものとする。

7 森林保業第 257 号-2
令和 7 年 8 月 15 日

道府県森林組合連合会 代表理事会長 様
東京都森林組合 代表理事組合長 様
大阪府森林組合 代表理事組合長 様
中はりま森林組合 代表理事組合長 様

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林保険センター所長（法人印省略）

災害救助法の適用を受けた区域を対象とした森林保険の対応について
（令和 7 年 8 月 6 日からの低気圧と前線による大雨）（対象区域拡大）

令和 7 年 8 月 6 日からの低気圧と前線による大雨にかかる災害救助法（昭和 22 年法律第 118 号）の適用を受けた市町に所在する森林を保険の目的とする保険契約及び同市町に住所を有している保険契約者又は被保険者の保険契約について、保険契約者が保険期間満了の 30 日前までに継続契約の申込みができなかった場合であっても、令和 8 年 2 月 27 日までに申出（別紙参照）があった場合は、同日まで継続契約の締結手続きを猶予します。

また、令和 8 年 2 月 27 日までに保険料を添えて継続契約の申込が行われた場合は、現契約と同一の契約条件により、現契約の満了日をもって継続による契約が成立したものとします。

なお、令和 7 年 8 月 6 日からの低気圧と前線による大雨により森林保険の継続契約の手続きを行うことが困難と判断される事情がある場合は、森林保険センターに相談して下さい。

以上

【別紙】

令和 年 月 日

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 理事長 殿

森林保険に係る申出書

申出者住所：

申出者氏名： （自署の場合は省略可）

森林保険に係る手続きについて、下記のとおり令和8年2月27日までの猶予を申し出ます。

記

該当手続き：森林保険契約の継続手続き
理由：森林保険契約を継続し災害に対する補償を維持するため
証書番号：
保険契約者：
被保険者：（外 名）



令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨に伴う災害にかかる 災害救助法の適用について【第9報】

1. 災害の概要

令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨により、多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じていることから、石川県の1市、山口県の1市、熊本県の6市5町、鹿児島県の4市に災害救助法の適用を決定した。

災害救助法 適用市町村	法適用日	被害の状況等	備 考
【山口県】 宇部市 (うべし) 【熊本県】 熊本市（救助実施市） (くもとし) 八代市 (やつしろし) 玉名市 (たまなし) 上天草市 (かみあまくさし) 宇城市 (うきし) 天草市 (あまくさし) 下益城郡美里町 (しもましきぐんみさとまち) 玉名郡玉東町 (たまなぐんぎよくとうまち) 玉名郡長洲町 (たまなぐんながすまち) <u>上益城郡甲佐町</u> <u>(かみましきぐんこうさまち)</u> 八代郡氷川町 (やつしろぐんひかわちょう)	8月10日	令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨により、多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じており、継続的に救助を必要としている。	災害救助法施行令第1条第1項第4号適用

災害救助法 適用市町村	法適用日	被害の状況等	備 考
【石川県】 金沢市 (かなざわし) 【鹿児島県】 薩摩川内市 (さつませんだいし) 曾於市 (そおし) 霧島市 (きりしまし) 姶良市 (あいらし)	8月7日		

2. これまでにとられた措置

- ・ 避難所の設置 等

本件問合せ先

内閣府政策統括官（防災担当）付

参事官（被災者生活再建担当）付

藤田、新野、阿部、池沼、田村

TEL 03-5253-2111（内線 51276）

03-3503-9394（直通）

7 森林保業第 260 号
令和 7 年 8 月 21 日

道府県森林組合連合会 代表理事会長 様
東京都森林組合 代表理事組合長 様
大阪府森林組合 代表理事組合長 様
中はりま森林組合 代表理事組合長 様

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林保険センター所長（法人印省略）

災害救助法の適用を受けた区域を対象とした森林保険の対応について
（令和 7 年 8 月 20 日からの大雨に伴う災害）

令和 7 年 8 月 20 日からの大雨に伴う災害にかかる災害救助法（昭和 22 年法律第 118 号）の適用を受けた市に所在する森林を保険の目的とする保険契約及び同市に住所を有している保険契約者又は被保険者の保険契約について、保険契約者が保険期間満了の 30 日前までに継続契約の申込みができなかった場合であっても、令和 8 年 2 月 27 日までに申出（別紙参照）があった場合は、同日まで継続契約の締結手続きを猶予します。

また、令和 8 年 2 月 27 日までに保険料を添えて継続契約の申込が行われた場合は、現契約と同一の契約条件により、現契約の満了日をもって継続による契約が成立したものとします。

なお、令和 7 年 8 月 20 日からの大雨に伴う災害にかかる森林保険の継続契約の手続きを行うことが困難と判断される事情がある場合は、森林保険センターに相談して下さい。

以上

【別紙】

令和 年 月 日

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 理事長 殿

森林保険に係る申出書

申出者住所：

申出者氏名： （自署の場合は省略可）

森林保険に係る手続きについて、下記のとおり令和8年2月27日までの猶予を申し出ます。

記

該当手続き：森林保険契約の継続手続き
理由：森林保険契約を継続し災害に対する補償を維持するため
証書番号：
保険契約者：
被保険者：（外 名）

8月20日 17時00分公表

令和7年8月20日
内閣府政策統括官（防災担当）

令和7年8月20日からの大雨にかかる 災害救助法の適用について

1. 災害の概要

令和7年8月20日からの大雨により、多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じていることから、秋田県は1市（仙北市）に災害救助法の適用を決定した。

災害救助法 適用市町村	法適用日	被害の状況等	備 考
【秋田県】 仙北市 (せんぼくし)	8月20日	令和7年8月20日からの大雨により、多数の者が生命又は身体に危害を受け、又は受けるおそれが生じており、継続的に救助を必要としている。	災害救助法施行 令第1条第1項 第4号適用

2. これまでにとられた措置

- ・ 避難所の設置 等

本件問合せ先
内閣府政策統括官（防災担当）付
参事官（被災者生活再建担当）付
藤田、新野、阿部、池沼、田村
TEL 03-5253-2111（内線51276）
03-3503-9394（直通）

7 森林保業第 2 6 6 号
令和 7 年 8 月 2 9 日

道府県森林組合連合会 代表理事会長 様
東京都森林組合 代表理事組合長 様
大阪府森林組合 代表理事組合長 様
中はりま森林組合 代表理事組合長 様

国立研究開発法人 森林研究・整備機構
森林保険センター所長（法人印省略）

災害救助法の適用を受けた区域を対象とした森林保険の対応について
（令和 7 年台風第 12 号に伴う災害）

令和 7 年台風第 12 号に伴う災害にかかる災害救助法（昭和 22 年法律第 118 号）の適用を受けた市に所在する森林を保険の目的とする保険契約及び同市に住所を有している保険契約者又は被保険者の保険契約について、保険契約者が保険期間満了の 30 日前までに継続契約の申込みができなかった場合であっても、令和 8 年 2 月 27 日までに申出（別紙参照）があった場合は、同日まで継続契約の締結手続きを猶予します。

また、令和 8 年 2 月 27 日までに保険料を添えて継続契約の申込が行われた場合は、現契約と同一の契約条件により、現契約の満了日をもって継続による契約が成立したものとします。

なお、令和 7 年台風第 12 号に伴う災害により森林保険の継続契約の手続きを行うことが困難と判断される事情がある場合は、森林保険センターに相談して下さい。

以上

【別紙】

令和 年 月 日

国立研究開発法人 森林研究・整備機構 理事長 殿

森林保険に係る申出書

申出者住所：

申出者氏名： (印) (自署の場合は省略可)

森林保険に係る手続きについて、下記のとおり令和８年２月 27 日までの猶予を申し出ます。

記

該当手続き : 森林保険契約の継続手続き
 理由 : 森林保険契約を継続し災害に対する補償を維持するため
 証書番号 :
 保険契約者 :
 被保険者 : (外 名)

8 月 28 日 18 時 00 分公表

令和 7 年 8 月 28 日
内閣府政策統括官（防災担当）



令和 7 年台風第 12 号に伴う災害に係る 災害救助法の適用について

1. 災害の概要

令和 7 年台風第 12 号に伴う災害により、住家に多数の被害が生じたことから、鹿児島県は南さつま市に災害救助法の適用を決定した。

災害救助法 適用市町村	法適用日	被害の状況等	備 考
【鹿児島県】 南さつま市 (みなみさつまし)	8 月 21 日	令和 7 年台風第 12 号に伴う災害により、住家に一定数の被害が生じ、現に救助を必要としている。	災害救助法施行令第 1 条第 1 項第 1 号適用

2. これまでにとられた措置

- ・ 避難所の設置 等

本件問合せ先
内閣府政策統括官（防災担当）付
参事官（被災者生活再建担当）付
藤田、新野、阿部、池沼、田村
TEL 03-5253-2111（内線51276）
03-3503-9394（直通）

令和 7 年 8 月 29 日現在

災害救助法の適用による森林保険のお手続き猶予措置状況

対象災害等	対象区域 (防災情報のページヘルプ)	措置決定日	お手続き猶予期限	終了日
令和 7 年台風第 12 号に伴う災害	鹿児島県の 1 市	2025/8/21	2026/2/27	
令和 7 年 8 月 20 日からの大雨	秋田県の 1 市	2025/8/20	2026/2/27	
令和 7 年 8 月 6 日からの低気圧と前線による大雨	石川県の 1 市 山口市の 1 市 熊本県の 6 市 5 町 鹿児島県の 4 市	2025/8/14	2026/2/27	
令和 7 年カムチャツカ半島付近の地震に伴う津波	北海道の 69 市町村 青森県の 9 市町村 岩手県の 12 市町村 宮城県の 15 市町 福島県の 3 市町 静岡県の 8 市町 三重県の 2 市	2025/7/30	2026/1/30	
令和 7 年台風第 8 号に伴う災害	沖縄県の 2 村	2025/7/30	2026/1/30	
トカラ列島近海を震源とする地震	鹿児島県の 1 村	2025/7/11	2026/1/30	
令和 7 年 3 月 23 日に発生した林野火災	愛媛県の 2 市	2025/3/27	2025/7/31	2025/8/1
令和 7 年岩手県大船渡市における大規模火災	岩手県の 1 市	2025/2/27	2025/7/31	2025/8/1
令和 7 年 2 月 17 日からの日本海側を中心とした大雪	青森県の 6 市 3 町 1 村 新潟県の 1 市	2025/2/26	2025/7/31	2025/8/1
令和 7 年 2 月 4 日からの大雪	福島県の 3 市 11 町 5 村 新潟県の 5 市 2 町	2025/2/13	2025/7/31	2025/8/1
流域下水道管の破損に起因する道路陥没事故	埼玉県の 1 市	2025/2/12	2025/7/31	2025/8/1
令和 6 年 12 月 28 日からの大雪	青森県の 10 市町村	2025/1/8	2025/7/31	2025/8/1
令和 6 年 11 月 8 日からの大雨	鹿児島県の 1 町	2024/11/11	2025/2/28	2025/3/1

今後の主な会議・行事予定について

日 付	研究	整備	保険	行 事 名	場 所 等
9月11日	○			農林水産技術会議委託プロジェクト研究成果 発表シンポジウム「植物バイテク技術が切り 拓く林木育種の高度化と効率化」	オンライン開催 (主催：森林バイオ研究センター)
9月11日～ 12日	○			関西地区林業試験研究機関連絡協議会	和歌山県勤労福祉会館プラザホー プ (和歌山市) (出席：関西支所、四国支所、関 西育種場)
9月18日～ 19日	○			「省力化・低コスト造林技術」現地検討会	建部町文化センター (岡山市) (主催：近畿中国森林管理局、関西 支所)
9月18日～ 19日	○	○	○	会計実地検査 (第5局)	森林総合研究所、森林整備センター (実施：会計検査院)
9月18日～ 11月30日	○			多摩森林科学園2025企画展 「クマ」ー かわいい？ こわい？ ー “知る” という選択	多摩森林科学園 (東京都八王子市) (主催：多摩森林科学園)
9月19日	○			森林講座「野と林の近現代史」	多摩森林科学園森の科学館 (東京都八王子市) (主催：森林総合研究所)
9月20日	○			令和7年度森林総合研究所四国支所一般公開	四国支所 (高知市) (主催：四国支所)
9月27日	○			第80回立田山森のセミナー「森林の気候緩和 機能ってなに？」	九州支所 (熊本市) (主催：九州支所)
9月29日～ 30日	○	○		令和7年度林業研究・技術開発推進関東・ 中部ブロック会議	農林水産省 (主催：林野庁、森林総合研究所)
10月2日	○			令和7年度関西地区特定母樹等普及促進会議	近畿中国森林管理局 (大阪市) (主催：関西育種場)
10月3日	○			令和7年度林業研究・技術開発推進近畿・中 国ブロック会議	近畿中国森林管理局 (大阪市) (主催：林野庁、関西支所)

10月4日～ 5日		○	○	令和7年度武蔵小杉駅前優しい木のひろば	グランツリー武蔵小杉(神奈川県川崎市) (主催：令和7年度武蔵小杉駅前優しい木のひろば実行委員会、共催：川崎市、後援：林野庁(予定)) (ブース出展：森林整備センター、森林保険センター)
10月15日	○			2025年度森林総合研究所公開講演会 「2050年の森：人口減少社会における森林の果たす役割とは」	ノバホール(茨城県つくば市) (主催：森林総合研究所) (後援：林野庁)
10月21日～ 22日	○			令和7年度林業研究・技術開発推進九州ブロック会議	九州森林管理局(熊本市) (主催：林野庁、九州支所)
10月22日	○			令和7年度九州地区特定母樹等普及促進会議	九州森林管理局(熊本市) (主催：九州育種場)
10月24日～ 29日		○		会計検査院実地検査	岐阜水源林整備事務所(岐阜市) (実施：会計検査院)
10月26日	○	○		水都おおさか森林(もり)の市2025	桜ノ宮合同庁舎、毛馬桜之宮公園(大阪市) (ブース出展：関西支所、関西育種場、近畿北陸整備局)
10月29日	○			令和7年度林業研究・技術開発推進四国ブロック会議	高知会館(高知市) (主催：林野庁、四国支所)

主要行事（令和7年8月8日～令和7年9月4日）

月 日	行 事 内 容	出 席 者
8月8日(金)	【共】理事会(森林整備センター開催)	理事長、各理事、森林保険センター所長、監事
27日(水)	【共】独立行政法人評価制度委員会	理事長、各理事、森林保険センター所長、監事
9月1日(月)	庁議	理事長
2日(火)	【研】環境研究機関連絡会	理事長、研究担当理事
3日(水) ～4日(木)	【研】関西支所監事監査	監事

※【研】：森林総合研究所、【育】：林木育種センター、【整】：森林整備センター、【保】：森林保険センター、【共】：共通の行事の略

森林総合研究所が広報普及した主な研究成果等について

○ 前月以降公開済の研究成果

	広報タイトル	研究者・担当者名	掲載誌名	論文公開時期	備考
1	コナラと台湾コナラの共存域、同種でも葉の形違って競争回避	ウエノ サネヨシ 上野 真義 樹木分子遺伝研究領域	The Plant Journal	2025/04	
2	日別雪崩発生数を推算、検出率70%の数理モデルを開発	カツヤマ ユウタ 勝山 祐太 森林防災研究領域	Cold Regions Science and Technology	2025/07	
3	東京23区の住民で過去1年間に森林を訪れたのは3人に1人ー森林空間利用を促すには何が必要なのか？ー	オダ キミサト 小田 龍聖 森林管理研究領域	Forests	2024/04	プレスリリース
4	遠くの自然を守るには、近くの自然とのつながりが大切ー渡り鳥の越冬地における保全活動への支払い意識額に影響するものー	ヤマウラ ユウイチ 山浦 悠一 四国支所	Animal Conservation	2025/04	プレスリリース
5	アジア地域初！陸域生態系によるCO ₂ 吸収動態を明らかにする大規模基盤データセット「JapanFlux2024」を構築	ミヤマ カフミ 深山 貴文 森林防災研究領域	Earth System Science Data	2025/08	プレスリリース

○ 最近のシンポジウム・イベント

	名称	担当	主催等	開催場所	開催日	備考
1	森林講座「シカは減っているのか？効率的な個体数管理のためのメスジカ捕獲」	森林総合研究所 多摩森林科学園業務課	森林総合研究所	多摩森林科学園 森の科学館 (東京都八王子市)	8月20日(水)	
2	つくばびっ子博士2025 もりの展示ルーム 夏休み公開	森林総合研究所 企画部広報普及科	つくば市	森林総合研究所	7月22日(火) ～8月15日(金)	
3	夏休み研究相談2025	森林総合研究所 企画部広報普及科	森林総合研究所	森林総合研究所	7月22日(火) ～8月29日(金)	